



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
コード番号 2221 URL <https://www.iwatsukaseika.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 榎 大介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 星野 忠彦 TEL 0258-92-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,124	19.4	293	4.6	369	△13.4	269	△16.5
2025年3月期第1四半期	5,965	12.4	280	113.0	427	56.3	322	94.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 3,113百万円 (△18.5%) 2025年3月期第1四半期 3,819百万円 (△19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.00	—
2025年3月期第1四半期	30.96	—

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	94,774	70,369	74.2	6,848.82
2025年3月期	91,104	67,952	74.6	6,531.13

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 70,369百万円 2025年3月期 67,952百万円

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり純資産額の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期末発行済株式総数の計算において控除する自己株式に含めております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,000	20.5	250	△14.0	2,600	△22.6	1,750	△26.1	168.20
通期	29,000	16.2	300	△63.2	2,700	△31.9	1,800	△38.1	173.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	11,990,000株	2025年3月期	11,990,000株
2026年3月期1Q	1,715,268株	2025年3月期	1,585,648株
2026年3月期1Q	10,347,374株	2025年3月期1Q	10,400,632株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善等から緩やかに回復しているものと見られており、インバウンド需要の継続や物価高対策、設備投資が景気を下支えする要因となっている模様であります。一方で、天候不順の影響による食品価格の高騰、人件費や物流コストの増加などによる物価上昇が景気の下押しリスクとなっております。また、トランプ関税の影響を見極めていく必要があり、中東問題の緊迫化などもあって不確実性が高まるなか、国内景気は弱含みで推移するものと見られております。

米菓業界におきましては、食品全体における米菓自体の値頃感やおつまみ需要に加え価格改定効果もあり、市場全体では概ね好調に推移している模様であります。一方で、生産においては、原料米の高騰をはじめ人件費や物流費などコスト上昇幅が大きく、各社とも主力商品に重点を置いて生産性を高めるとともに価格改定を継続して行うなど、採算維持に腐心しているものと見られます。今後については、原料米の価格高騰に加え安定調達が容易でなくなることも懸念され、事業環境はかつてない厳しさになるものと見られております。

このような経営環境にあって、当社グループは、中期経営計画「米(マイ)ミライ ~私たちは、お米の未来を創ります~」の初年度にあたり、「現状の一步先をカタチにしよう!」をスローガンに掲げ、基本方針を「愛され続ける『ブランド』を目指して」と定めて、不確実性の高い時代に、「自分だったらどう思うのか、どうするか」を考えることを大切にしながら、お客様や社会の課題と真摯に向き合い、ブランド価値の向上を目指すとともに「美味しさと品質」を追求してまいります。

開発部門では、他社との差別化を際立たせるとともにブランドイメージの向上に繋げられるよう、お客様に「美味しさの感動と驚き」をお届けするための商品開発を進めております。四川料理の人気店店主の監修を得て本格的な味わいを実現した「THEひとつまみエビチリ味」や沖縄土産として知られる梅菓子とコラボした「ふわっとスッパイマン梅味」を発売するなど、新たな需要創造に向け取り組んでおります。

製造部門では、人員配置や生産計画の見直し、主力品の設備増強、DX活用等により、売上高が伸長するなかで供給責任を果たしてまいりました。また、自動化設備の導入により、原材料費や労務費の抑制に繋がり、製造原価の低減が図られております。引き続き生産性の向上に注力するとともに、物流の2024年問題に対して同業他社と共同配送を試行するなど、物流体制の再構築への取組みを強めております。

営業部門では、継続して主力商品(TOP6+2)の販売に注力し定番化を推し進めた結果、「味しらべ」「田舎のおかき」「大袖振豆もち」「ふわっと」「ぬれせんべい・ぬれおかき」など多くの商品において伸長しました。原料米の調達環境が厳しさを増すなかにおいても日本のお米を100%使用している価値をお伝えするため、「お米となかよし」をキーワードとしてブランドイメージアップに取り組むとともに、認知度の向上に繋げるための情報発信に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、主力商品に注力し堅実な販売実績を示したなかで一定の原価低減効果もあり、営業損益段階では前年同期間比増収増益となりました。すなわち売上高は、主力商品が好調に推移しシェアの確保に繋がった結果、71億24百万円(前年同期間比19.4%増)と伸長しました。損益面では、主原料をはじめとする原材料の高騰を受け製造原価が上昇したものの増収効果で吸収し、営業利益は2億93百万円(前年同期間比4.6%増)となり、経常利益は前年度の為替差益の反動等から3億69百万円(同13.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億69百万円(同16.5%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は947億74百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億70百万円の増加となりました。

流動資産は116億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億89百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億2百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は831億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して41億60百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により42億10百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は244億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億52百万円の増加となりました。

流動負債は48億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が90百万円、未払法人税等が27百万円、流動負債のその他に含めております未払金が2億79百万円、預り金が34百万円それぞれ増加した一方で1年内返済予定の長期借入金が95百万円、賞与引当金が3億8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は195億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億33百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等により繰延税金負債が12億25百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は703億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億17百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が28億46百万円増加したこと及び自己株式の取得により自己株式が3億82百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,063,481	3,312,336
受取手形及び売掛金	5,990,430	5,588,162
商品及び製品	546,496	911,147
仕掛品	155,022	174,105
原材料及び貯蔵品	1,208,352	1,234,896
その他	185,248	437,217
貸倒引当金	△36,450	△35,268
流動資産合計	12,112,581	11,622,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,644,519	7,560,191
その他(純額)	7,341,702	7,367,803
有形固定資産合計	14,986,222	14,927,994
無形固定資産	86,786	83,147
投資その他の資産		
投資有価証券	63,601,080	67,811,815
その他	350,729	361,867
貸倒引当金	△32,681	△32,681
投資その他の資産合計	63,919,128	68,141,002
固定資産合計	78,992,137	83,152,144
資産合計	91,104,718	94,774,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162,375	1,252,585
1年内返済予定の長期借入金	400,800	305,000
未払法人税等	164,847	192,194
賞与引当金	552,930	244,079
その他	2,518,706	2,824,250
流動負債合計	4,799,660	4,818,109
固定負債		
長期借入金	4,400	—
退職給付に係る負債	1,160,584	1,175,059
繰延税金負債	16,639,980	17,865,802
役員株式給付引当金	50,397	50,397
役員退職慰労引当金	4,135	4,435
その他	493,391	491,163
固定負債合計	18,352,889	19,586,857
負債合計	23,152,550	24,404,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	26,031,047	25,986,739
自己株式	△3,138,364	△3,520,874
株主資本合計	26,386,683	25,959,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,454,439	44,301,216
退職給付に係る調整累計額	111,044	108,693
その他の包括利益累計額合計	41,565,484	44,409,909
純資産合計	67,952,167	70,369,774
負債純資産合計	91,104,718	94,774,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,965,709	7,124,164
売上原価	4,275,365	5,270,107
売上総利益	1,690,344	1,854,057
販売費及び一般管理費	1,409,603	1,560,342
営業利益	280,740	293,715
営業外収益		
受取利息	307	77
受取配当金	23,592	29,445
為替差益	79,472	—
持分法による投資利益	37,350	43,953
その他	11,683	7,860
営業外収益合計	152,407	81,336
営業外費用		
支払利息	1,454	1,144
休止固定資産費用	572	2,543
貸倒引当金繰入額	2,318	—
為替差損	—	1,620
その他	1,697	1
営業外費用合計	6,043	5,308
経常利益	427,104	369,743
特別利益		
固定資産売却益	—	579
特別利益合計	—	579
特別損失		
固定資産除却損	270	4,560
投資有価証券評価損	707	1,900
特別損失合計	978	6,461
税金等調整前四半期純利益	426,126	363,861
法人税、住民税及び事業税	141,687	181,922
法人税等調整額	△37,600	△87,106
法人税等合計	104,086	94,815
四半期純利益	322,039	269,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,039	269,046

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	322,039	269,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,498,253	2,846,776
退職給付に係る調整額	△331	△2,350
その他の包括利益合計	3,497,922	2,844,425
四半期包括利益	3,819,961	3,113,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,819,961	3,113,472
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	374,967千円	401,107千円